

労働安全衛生の取り組み

従業員の健康保持・増進と労働災害の防止を通じて、さまざまな施策を推進しています。

基本的な考え方

カシオは「従業員の健康保持増進」と「労働災害の原因及び再発防止」のため、労働安全衛生法をはじめとする各種法律や当社就業規則に基づき、従業員が安心して働ける環境整備をグループ全体で推進しています。

なお、海外グループ会社においても、所属する国の法規制を遵守して、同様に対策を行っています。

労働安全衛生委員会の活動

カシオ計算機本社では、労働安全衛生法第18条に基づき、「安全衛生委員会」

を設置しています。同委員会は、「カシオ計算機株式会社本社安全衛生規程」に則り、毎月一回の会議を通じて、従業員の心身の健康保持や労働安全の確保に向けたさまざまな施策を推進しています。

2004年度は、①健康づくりの推進、②メンタルヘルスの向上、③労働安全意識の向上、を重点課題として、以下の活動を実施しました。

従業員の健康増進

カシオでは、全従業員を対象に年1回の健康診断を実施しており、検診項目の拡充に努めるとともに、二次検診・フォローアップの充実にも注力しています。また、

カシオ計算機本社内には診療所（内科・歯科）を開設し、常駐医師が社員の健康管理に当たっています。

2004年度は健康診断を7月に実施（890名が受診）し、受診率100%を継続しました。また、健康の維持増進と生活習慣病の予防を目的に、2000年よりスタートとした「ウォーキングキャンペーン」を9月から11月にかけて各地で実施し、従業員の家族も含めて多数の方々に参加いただきました。なお、スポーツクラブと契約し、社員に健康増進の機会も提供しました。

口腔衛生啓発

2003年4月より、本社診療所の歯科担当医によるコラム「病は口から」を社内ウェブに掲載し、口腔衛生への啓発活

動に努めています。この活動は2004年度も継続しています。



コラム「病は口から」

社員食堂の取り組み

社員食堂では、食の安全性を確保し、肥満や生活習慣病を改善・予防するため、食事メニューにはエネルギー・塩分・脂質の表示を行い、カロリー・栄養バランスを考慮したヘルシーメニューを提供しています。

2005年3月にも会社、カシオ健康保険組合、社員食堂が連携を深めることを目的に「全社社員食堂会議」を開催し、現場責任者・栄養士・看護師も出席し、肥満、生活習慣病などの啓発キャンペーンについてサポートしています。社員食堂では、事業所毎に健康応援フェアを開催し、健康応援メニューの推進も行っています。

メンタルヘルスケア

近年、仕事や就業生活に関する不安や悩み、ストレスが重要な社会問題となっています。2000年には労働省（現厚生労働省）が「事業場における労働者の心の健康づくりのための指針」を定めるなど、企業におけるメンタルヘルスケアのための環境整備が求められています。

カシオでは、管理職を対象とした講習会の開催などを通じて「心の健康」への意識向上を図るとともに、過重労働による健康障害を防ぐため、産業医による時

間外労働者健康診断を徹底するほか、診療所や外部相談窓口「心と身体のホットライン」でも相談を受け付けています。

マネジャー向け講習会「健康増進と管理監督者の役割」を開催

本社（5月）および羽村技術センター（11月）において、マネジャー向け講習会「健康増進と管理監督者の役割」を実施しました。それぞれ多数の参加のもと、本社診療所産業医を講師に、健康診断、健康づくり、過重労働と健康障害、安全配慮義務、メンタルヘルスなど、多岐にわたる話題を体系的に語っていただきました。講習会では、従業員の健康管理のために管理監督者が果たすべき役割について、特に強調され、参加したマネジャーが熱心に聞き入っていました。



マネジャー向け講習会

労働災害の防止

カシオでは、「労働災害ゼロ」の実現に向けて、各職場で無事故・無災害を目指した安全活動を展開しています。また、各事業所において防災訓練や避難訓練を実施し、万一の事態に備えています。

労災における休業者数（過去5年間）（カシオ計算機）

	人数	日数
2000年度	0	0
2001年度	0	0
2002年度	1	73
2003年度	0	0
2004年度	0	0

2004年度 防災・消防訓練実施状況一覧表（主要事業所）

主要事業所名称	実施年月
カシオ計算機本社ビル	2004. 9
カシオ計算機羽村技術センター	2005. 3
カシオ計算機八王子技術センター	2004.12
カシオ計算機青梅事業所（カシオマイクロニクス）	2004.12
カシオ日立モバイルコミュニケーションズ	2005. 2
甲府カシオ	2004. 9
高知カシオ	2004. 7
山形カシオ	2004.10

※他関係会社においても、実際の火事を想定して訓練を行い、防火意識の向上を行っています。

羽村技術センター応急救護訓練

2004年12月3日、羽村技術センターにおいて、福生消防署管内羽村出張所の消防署員を招いて応急救護訓練を実施しました。

当日は、同センターの火元責任者、通報連絡班、避難誘導班、消火班、電気・機械班、医務室の自衛消防隊員の各員約150名が参加し、消防署の方々の指導のもと、1時間にわたり救命手当法の訓練が行われました。



救命手当法の訓練